

映画研究部

映画鑑賞レポート

平成 27 年度

2 月分

鑑賞レポート 一覧

- 20110 「きみに読む物語」
- 20139 「きみに読む物語」
- 20502 「信長協奏曲」
- 20610 「ONE PIECE ～アドベンチャー・オブ・ネブランディア～」
- 20632 「ハリー・ポッター 不死鳥の騎士団」
- 20729 「土竜の唄」
- 20734 「スターウォーズ フォースの覚醒」
- 20904 「新しい靴を買わなくちゃ」
- 21111 「ガールズ&パンツァー」
- 21114 「テッド2」
- 22022 「エージェント・ウルトラ」
- 22118 「ナショナルトレジャー」
- 22121 「図書館戦争」

鑑賞レポート 20110

映画名「きみに読む物語」

評価 10/10

ストーリー（ネタバレあり）

あるおじいさんが認知症の自分の妻に自分達の若いときの話を物語として読んであげるという物語です。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

私はこの映画を見終わった後、とてもすてきな話だなと思い、すごく感動しました。この物語では身分の違う男女が若い時、お互い真剣に愛し合っていました。しかし身分の違いから両親には反対され、二人は引き離されてしまいました。この二人はよく意見がぶつかり、いつも大ゲンカをしていました。その引き離された前日も男が身を引くために言った言葉で二人は大ゲンカし、そのまま離され、別々に生活をしました。男はその日から1年間、毎日手紙を書きました。しかし彼女の母親はそれを彼女には見せませんでした。そして男は彼女との思い出の場所に住み、約束を果たしました。ある日男は町で彼女を見かけ、追いかけてきましたが、彼女には新しい彼氏がいました。彼女はプロポーズされ、その男と結婚することを決めました。しかし、彼女は忘れたわけではありませんでした。そして男に会いに行くことを決めました。会って話すと、二人は昔の気持ちに戻りました。ただ彼女には婚約者がいました。しかし、彼女は男と暮らす決心をしたのです。二人はお互いにとても愛し合っていました。その話を年をとって彼女が重度の認知症になってしまっ、過去のことを忘れてしまうので、男が読みかせていました。

私はこんなに映画を見て感動したのは初めてだったので、あらすじを紹介しました。クライマックスはご自身でこの映画を見てください。きっと言葉が出ないほど感動すると思います。

今月の鑑賞映画報告

きみに読む物語

評価 5 / 5

初の洋画でこんなに感動するとは思いませんでした。洋画にはまってしまいそうです。

鑑賞レポート 20139

映画名「きみに読む物語」

評価 9 / 10

ストーリー

愛し合った**2**人は一度別れてしまうが、最後まで一度結びつくストーリー。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

私はこの映画を修学旅行の時に友達にオススメされましたが、飛行機で寝てしまい、見れずに終わってしまっていたのですが、最近もう**1**人の友達も見てオススメしてきたので見ました。

この物語は、おじいさんが認知症のおばあさんに、毎日少しずつ、過去の**2**人の恋の物語を聞かせてあげ、認知症なのにふとおばあさんは過去のことを思い出して我にかえるのです。またすぐに認知症のおばあさんに戻ってしまうにもかかわらず、おじいさんは過去の**2**人の物語を読み聞かせ続け、そこでおじいさんからおばあさんへの愛情がとてもたくさんあることが伝わってきました。

2人は昔、愛し合っていたのですが、おばあさんの実家とおじいさんの実家の貧富の差などの理由で別れなければならなくなり別れるのですが、それでもお互いに思い合い続ける事にわたしはとても胸が痛くなりました。そして、結婚に貧富の差など関係ないだろうと思いました。

お互いに思い合っているのはすごいと思いました。それが本当の恋なのかなと感じたり、学ぶことを多かったので、すごくいい映画でした。

鑑賞レポート 20502

映画名「信長協奏曲」

評価 10/10

ストーリー

戦国時代にタイムスリップした高校生サブローは、奇しくも同じ顔をした織田信長と出会い、信長として生きることになってしまう。はじめは逃げ腰だったサブローであったが、戦の惨状を目の当たりにするにつけ、織田信長として生きる覚悟を決め、戦のない世をつくろうと思い始める。

鑑賞レポート

私は今まで見た映画の中で、この映画が一番感動しました。映画の上映中はもちろん終わった後もしばらく泣き続けてしまいました。

私が一番感動したシーンは、ずっと信長に嫉妬し続けていた明智光秀が、自らの命に変えて信長を助けたところです。これは、明智光秀がピンチの時に助けに行ったら自分達も死ぬかもしれないという状況で信長が明智光秀を助けるという選択をしたからだと思います。こうした信長の仲間を思う熱い気持ちが明智光秀の心を変えたのだと感動しました。

私は帰蝶と信長の別れのシーンもとても感動しました。死ぬ運命だと分かっているながら、愛する帰蝶と別れ、責任を感じて戦いにいく信長の背中が私が人生で見てきた中で一番カッコよかったです。

信長が元の世界に戻ってサブローに戻った時、帰蝶からのビデオを見て初めて泣いた時、私はこんなにいい映画は初めてだと思いました。この感動を忘れずに、私はこれからも生きて行こうとおもいました。

鑑賞レポート 20610

映画名「**ONE PIECE** ～アドベンチャー・オブ・ネブランディア～」

評価 8 / 10

ストーリー (ネタバレあり)

かつて敵としてできたフォルシー海賊団が味方としてルフィ達、麦ワラの一団と力を合わせて自分達の仲間を海軍から救うというストーリーです。

鑑賞レポート (ネタバレあり)

ルフィやフォルシーは悪魔の実の能力者です。ゆえに海水や、海ろう石にとっても弱く、能力が発揮できなくなります。フォルシー海賊団として加わった作戦参謀のコーメイは裏として海軍中将の顔を持ちます。そのコーメイがフォクシー達を裏切り、能力者達以外を毒キノコで動けないようにして捕まえます。残った能力者達は、仲間を救うためにネブランディアという島にたどり着きますが、園山は能力者封じの島だったのです。霧が島内部から立ち上がり、海水だらけなので能力者達が攻撃できないのです。ルフィは仲間を救うためなら何でもする正確なので、危険な行動も難しくします。コーメイはとてはずるがしこく、ワナばかりを作り、ハメていくのです。

最終的にはルフィにゴムゴムの火拳銃（レッドホーク）でコーメイをぶっとばしますが、自分も見ているとコーメイにとってもイラつきました。ルフィ達は海軍中将ぐらいなら今の力だと余裕で勝てると思います。

今月の鑑賞映画報告

「**ONE PIECE** ～アドベンチャー・オブ・ネブランディア～」

評価 4 / 5

とてもおもしろかった。

鑑賞レポート 20632

映画名「ハリー・ポッター 不死鳥の騎士団」

ストーリー

ヴォルデモートが復活するも、それを信じない魔法省は真実から人々を遠ざけ、さらにホグワーツを監視するために闇の魔法に対する防衛術の新任教师としてアンブリッジを送り込んだ。しかし、アンブリッジの教える防衛術は迫り来る闇の魔術に対しては余りにも不十分で、ロンとハーマイオニーに説得されたハリーは選抜した少数のメンバーとともに秘密の訓練を開始する。

鑑賞レポート

前作の炎のゴブレットでハリー・ポッターの敵であるヴォルデモートが復活した。しかし、魔法省はハリーの言う事を聞かずにいた。しかし、昔ヴォルデモートに対応するために作られた組織がヴォルデモートと戦った。ハリーは小さい頃に両親がヴォルデモートに殺されており、家族がいなかった。しかし、自分の名付け親というシリウス・ブラックだけが家族だったが、ヴォルデモートに対応するために戦った組織のときに、シリウス・ブラックのいとこのベラトリックスという女に死の魔法をかけられ、死んでしまった。そしてハリーはシリウスの死に向き合い、ヴォルデモートと戦うことを決めた。

これからの作品はヴォルデモート対ハリー・ポッターの戦いになるでしょう。

鑑賞レポート 20729

映画名「土竜の唄」

評価 8 / 10

ストーリー (ネタバレあり)

警察の問題児である主人公の菊川玲二が、広域暴力団数寄矢会の会長、轟周宝を逮捕するために、モグラとして同会に加入。ヤクザであるがゆえの血生臭い修羅場と、モグラであるがゆえの宿命の渦巻く中で、正義感と悪運を武器に玲二が活躍する姿を描く。

Wikipedia 参照

鑑賞レポート (ネタバレあり)

玲二が潜入捜査官になるために行われた3つのテストを合格し、数寄矢会へ加入するために、日浦匡也(クレイジーパピヨン)と戦った。その戦いの時に、パピヨンが、ヤクザは面白くなくてはいけないと言って、玲二を試したところ、腸を蝶々結びにするというギャグが出てきて、なかなか面白かった。数寄矢会に加入し、盃をかわす場所に、たくさんのヤクザが集まっていた、これが、本当のヤクザの世界なんだなと思った。こんなことが現実でもあることに少し驚いた。玲二が猫沢という敵に襲われたときに、パピヨンが玲二をかばい、足を銃でたくさん撃たれた。玲二がモグラだということを知らずに撃たれたパピヨンと、かばわれてしまった玲二の気持ちを考えると、とてもつらいなと思った。この戦いで、パピヨンは両脚を失ったので、玲二は任務が終わった後でもヤクザをやめることができなかった。玲二はモグラということをパピヨンに伝えるのか、次作がきになる。

今月の鑑賞映画報告

おっぱいバレー

評価 4 / 5

強豪校に勝つために、必死で練習しているのがよかった。

鑑賞レポート 20734

映画名「スターウォーズ フォースの覚醒」

評価 8/10

ストーリー

第2 デス・スターが破壊されたエンドアの戦いから約 30 年後、銀河帝国が滅びる大きな要因を作ったとされるジェダイの騎士ルーク・スカイウォーカーが姿を消した。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

本作の主人公のレイ・フォースが覚醒したことでジェダイの末裔であることは明らかです。しかし、誰の子供なのかは明らかになっていません。そして、家族の記憶が失われています。ハン・ソロとレイアの息子であるアイロ・レンはフォースを操れます。なので、単純にハン・ソロとレイアの娘という可能性があります。

しかし、ハン・ソロはレイと会った時に初対面な対応だったので、もしかしてレイアの別の子供という可能性もあります。そして、ルーク・スカイウォーカーの子供という可能性も。というのも、酒場の地下でルークのライトセーバーを手にした時にルークの記憶らしき幻影をレイは見ています。そして、レイが幼き時に親と離れ離れになるシーンが描かれていましたが、これがルークの記憶だとしたら、親であるルークと離れ離れになってしまっていることが想像できます。

すでに続編の「スター・ウォーズ エピソード8」の公開予定日が明らかになっており、日本では**2017年7月1日**に公開されることが発表されています。監督はライアン・ジョンソンで、エピソード7の監督を務めた**J.J.**エイブラムスは製作総指揮に回ります。

映画名「新しい靴を買わなくちゃ」

評価 10/10

ストーリー（ネタバレあり）

カメラマンをしている八神センと妹のスズメはパリに来ていた。しかし、兄であるセンはスズメに無理矢理連れてこられたただけであった。スズメにとってセンとは生まれた時からずっと守り神のようなもので、勝手に同行させられ、さらにパリで突然置き去りにされた。その時、センの前にフリーペーパーの編集者である一人の女性アオナに出会う。センとアオナは、あるきっかけで徐々に仲良くなり、お酒を飲み、アオナの家に居候するまでになった。二人の過去をゆっくりと自分のペースで伝え合い、お互いのことを知っていくのんびりした大人のパリでの恋のひとつきが、外国のきれいな景色とともに描かれています。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

この映画は、パリの綺麗な情景に惹かれて見てみたいと思いました。物語の中心となる二人の大人な恋のひとつきは、見ているだけで私も心があつたまります。年上の女性と年下の男性のリアルを描いているようにも感じました。

過去にいろいろつらいこともあって、そのことをゆっくりとお互い打ち明けていく時は、私までドキドキして緊張して震えました。とても短い時間の中でも、仲良くなった二人だけけれど、まだ敬語交じりの会話にはキュンキュンしました。私も、夢の中で理想の世界ではあるけれど、外国でこの二人のようなロマンチックな時間を過ごして、恋愛も憧れだなと思いました。

残念な事に、二人の時間は旅の途中であつと言う間だったので、少し寂しくなりました。二人の姿も、情景も、すべてが綺麗で自分にとっての大きな憧れの場所にとっても行きたくなりました。そんな夢か現実かは分からないけれど、気持ちを持たせてくれる素敵な映画だと思いました。この映画のタイトルでもある「新しい靴を買わなくちゃ」の靴は後に女性の元へと届き、さらにピッタリで、あの男性は突如現れた王子様かと思いました。

私は、この映画の続編等を期待してしまいました。

今月の鑑賞映画報告

悪の教典

評価 3/5

残酷なシーンはとてもリアルで、怖かったけれど、スリル満点でよかった。

新しい靴を買わなくちゃ

評価 5/5

綺麗なパリの街並みと大人な二人のちょっとした恋がとても穏やかで心があつたかくなった。

映画名「ガールズ&パンツァー」

評価 10/10

ストーリー

大洗女子学園という高校があり、そこには主人公西住みほという人がいる。この人は乙女のたしなみである“戦車道”というのをやりたくないために、この高校へ転校してきました。しかし、この高校も戦車道をやるといい、西住みほは戦車道に入れと生徒会の人に命令された。しかし、どうしてもいやで、友達みんな戦車道がいいといていたが、みほについていくといい、他の部活になるとおもいきや、戦車道をやることを決意した。戦車を集め、他の高校と試合をし、勝った。そして高校大会に出た。そして、負けそうになった。そのとき、生徒会長は勝つしかないのだ!!!といった。その意味は優勝しないと廃校になるということを告げられた。そしてなんとか優勝することができた。

しかし…劇場版のほうでは…実はまだ廃校の可能性があったのだ。

鑑賞レポート

ガールズ&パンツァー略してガルパンは、アニメの続きになっており、1~12話を見てからでないとし難しいと思います。2013年のアニメで今映画化されてとても驚きました。見た感想は、地上波と違ったとても迫力のある映画になっていました。その迫力をよりのしむ4DXという実際戦争に乗っているような感覚を味わうことができます。普通に戦車に乗って打ち合いするのではなく、いろいろな作戦を立てて動きます。その作戦内容がとてもとても面白くて、つい笑ったりもしてしまいました。一つあったのを紹介しますと、アヒルの被り物を着て、身を隠して背後を攻撃という作戦ですが、やはりアニメなのでそう上手くきまらないというものです。一人が暴れたので被り物がとれてしまって相手に気づかれてしまいました。このような予想できないほどのおもしろさがあります。この映画はものすごく人気があって、今でも満席でなかなか見ることはできません。

最後に、映画を見ると得点がもらえます。そこも楽しみの要素がありますね。グッズが販売されており、戦車の模型などが売ってありました。見た後にこれはいいと思い買ってしまいました。この映画が本当にすごく、おもしろい映画です。ぜひ見てみてください。

鑑賞レポート 21114

映画名「テッド2」

評価 8 / 10

ストーリー（ネタバレあり）

話すことができるぬいぐるみテッド。このテッドはバイト先で知り合った女性と結婚する。そして子供が欲しくなったが市民権がないことがわかり、できなくなった。しかし、テッドは裁判をおこした。そして弁護士のサマンサを雇う。そしてサマンサとテッドと仲良しなジョンが交際するようになる。1回目の裁判では負けてしまう。しかし、テッドやその仲間が協力して2回目の裁判に勝つことができた。そしてテッドは市民権を認められた。しかしテッドはぬいぐるみなので子供を産むことができなかったので、養子をもらい、幸せな生活をおくれます。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

僕はテッド1から見ていたので、2も見ることができてよかった。テッド3もできるなら、劇場に行きたいです。テッド2は修学旅行中の飛行機でも見ました。2回見ても凄く面白いです。

テッドには、たくさん笑うところがあったり、感動するところがあります。テッドは見た目はすごく可愛いけど、中身は最低ですごくゲスいです。でも、ぜんぜん恨めないキャラクターです。ぬいぐるみみただけで、生きているし、話せるし、感情もあるのに市民権がないのは可哀想だと思いました。最終的に取ることが出来たのでよかったです。

この世界にしゃべれるぬいぐるみとかがいたら、しゃべってみたいです。

テッドは何回見ても面白いので、また見たいと思います。友達とかと一緒に見たらすごく盛り上がると思うし、まだ見ていない人がいたら見て欲しいです。

今月の鑑賞映画報告

テッド2

評価 4 / 5

おもしろい!!

鑑賞レポート 22022

映画名「エージェント・ウルトラ」

評価 9 / 10

ストーリー

日々をのらりくらりと生き、田舎のコンビニでバイトをしているダメ男のマイク（ジェシー・アイゼンバーグ）は、一緒に住んでいる恋人のフィービーとハワイまで旅行に出て結婚を申し込もうと決意するが、出発前にパニック発作を起こしてしまい、旅行は中止に。ある日、コンビニでバイトをしていたところ、謎の暗号を聞かされ、眠っていた能力が覚醒し、スプーン1本で暴漢2人を倒してしまう。実はマイクはCIAが極秘計画でトレーニングされていたエージェントだった。

鑑賞レポート

たまたま暇な時に興味もなく観た映画なのですが、すごく当たりでした。グロテスクで過激でしたが、コメディも含まれてロマンティックな内容でもありました。ただ少し無茶な設定すぎるかなとも思いました。ユルッとした感じをだしながらもスゴウデのエージェントになるってのはどうかなと思いました。あと好きなシーンでもあるんですが、相手と撃ち合いになっている時、キッチンにふせていて横に落ちているフライパンを拾い上げて上空に投げて、そのフライパンに跳弾させ、相手を倒すという技なのですが、投げて弾をうつ角度やタイミングや投げる位置など考えたら、ほとんどの確率で無理だとおもいます。ましてや、かなり凄腕の相手に追い詰められている状況で、たった一回のチャンスで当てるのは無理すぎるかなあと思いました。ムチャとか抜きで話せば、戦闘シーンはめちゃくちゃカッコいいです。ラストシーンのスーパーでの戦闘はすごいオススメです。てあたり次第に落ちているもので攻撃するのですが、少し笑えます。

鑑賞レポート 22118

映画名「ナショナルトレジャー」

評価 9 / 10

ストーリー（ネタバレあり）

ベン・ゲイツは秘密の財宝を受け継ぐ一族で、ベンは祖父から財宝の話を聞いていて、大人になり夢見た財宝を見つけるため、トレジャーハントをする。ある日、「アメリカ独立宣言書」に手がかりがあるのを突き止める。そして、これを盗もうとしているイアンに手に入れさせないためにベンが「アメリカ独立宣言書」を盗む。そして、宣言書の裏に暗号があり、また次の手がかりになっていて、仲間と一緒に謎を解いていき、教会の地下階段を下り、ついに財宝を見つける。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

僕がこの映画で印象に残っている場面は2つあります。1つ目は盗んだ「アメリカ独立宣言書」の裏を、レモンの汁をつけた綿棒でなぞっていき、何も書かれていなかったのに、文字が浮かびあがって、驚かされました。2つ目は、終盤で教会の地下に下りていき、行き止まりで「財宝はない！」などと言い、イアン達をベンとベンの父の2人でだまし、本当は行き止まりではなく、仕掛け扉があり開けるが、そこには財宝がなく、先に誰かがここへ来て、財宝を持っていったんだと思い、意気消沈するが、なんとまだその奥に部屋があり、たくさんの財宝と出口を見つけて大喜びをする場面です。だますのが親子そろって上手で、息ピッタリだったので、面白かったです。たくさんの財宝を見たとき、鳥肌が立ち、満足しました。

僕は、ナショナルトレジャーを見るとワクワクし、夢があり、気にいったので、是非見て欲しいです。

鑑賞レポート 22121

映画名「図書館戦争」

評価 8 / 10

ストーリー（ネタバレあり）

ある日、本を検閲する法律が作られました。その都市から照和から正化になりました。そして正化**31**年に主人公の笠原郁は図書生から図書特殊部隊（ライブラリー・タスクフォース）になりました。笠原郁は見回っているときに本を持ってトイレに行く男性を見かけました。その男性を追って男性のトイレに行って、その男を投げ飛ばしましたが、捕まえるのを忘れていて、カッターで刺されそうになりますが、教官の堂上教官が着て、助けてもらいます。しばらくして良化隊が検閲するために攻めてきました。正面からの攻撃でゆだんしていて、裏から入られて本をとられます。だけど笠原郁がそれを見つけてとりかえします。しばらくして他の図書館が閉館することになったので、その本を笠原郁のいる関東図書館に持って行こうとしますが、笠原がつかまってしまいます。堂上教官のおかげで本も笠原も助かりました。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

この映画は小説が大ヒットして、映画化されたものです。大ヒットしただけあって、面白かったです。パラレルワールドの話をよくここまで再現したなと思いました。あとたまにくる岡田准一が演じていた堂上教官のアクションシーンがかっこよかったです。最後のほうに**1**対**1**で堂上教官が戦う場面があったんですが、地面に本がいっぱいあって、その本の紙切れを利用して戦ったせいもあって、ものすごくカッコよく見えました。この戦いが終わって、笠原郁が「堂上教官を目指します」と言いました。その時に「そりゃ言うわ」と思いました。あと印象に残っているが、良化隊との撃ち合いです。ずっと図書隊が勝っていたのに、最後にあった別の図書館から本を運ぶときに良化隊と戦いました。そのときに初めて図書隊が退くところをみました。退いた戦いのうち合いがかっこよかったです。